

## 掲載内容の修正

### 報告編 5. 令和4年の地盤沈下・正誤表

① 49 ページ目、右側、上から 9～13 行目

「区部の観測井は膨張を示すものが多いのに対して、多摩地域では収縮を示すものが多い。また、地表面から鉄管底までの間の地層の変動量によって観測される浅層部では、多摩地域に膨張を示す観測井が多くみられる。」

上記記述、下線部の修正：

「は収縮」→「も膨張」、「膨張」→「収縮」 に修正

② 58 ページ目、左側、上から 5～6 行目

「最も大きいのは武蔵村山市三ツ藤三丁目にある武蔵村山第2観測井の1.39m」

上記記述、下線部の修正：

「最も大きいのは稲城市矢野口にある稲城観測井の3.62m」 に修正

③ 61 ページ目、左側、上から 7 行目

「多摩地域では収縮を示すものが多い。これに対して、浅層部（地表面から鉄管底までの間の地層の変動量）では多摩地域に膨張を示す観測井が多くみられる。」

上記記述、下線部の修正：

「は収縮」→「も膨張」、「膨張」→「収縮」 に修正

④ 61 ページ目、右側、上から 2～4 行目

「最も大きいのは武蔵村山市三ツ藤三丁目にある武蔵村山第2観測井の1.39m」

上記記述、下線部の修正：

「最も大きいのは稲城市矢野口にある稲城観測井の3.62m」 に修正